

令和四年度

事業報告書

社会福祉法人あゆみの会

1. 総 論

(1) 板橋保育園民営化園の取り組み

区立板橋保育園民営化園の公募に法人プロポーザルが採用され、令和6年4月開園に向け準備が進められた。

○ 板橋保育園民営化園の概要

開園：	令和6年4月1日
名称：	板橋保育園
場所：	東京都板橋区富士見町20-118
定員：	103名定員（1歳児～5歳児）
敷地：	1375.88㎡（都営住宅跡地、都と定期借地権付土地貸借契約）
園舎：	993.94㎡（延べ床面積）
設計：	山岸光信建築設計事務所 〒360-0841 埼玉県熊谷市新堀 600-1

○ 三者協議会等（法人・区立板橋保育園保護者・板橋区）

5月27日	板橋区	用地貸付の推薦に関する協定書締結
7月1日	自治会長挨拶	富士見自治会長挨拶
7月13日	地域説明	富士見地域センター自治会挨拶
7月30日	第一回三者協議会	保育理念・運営方針の説明
8月18日	板橋区	三者協議会事前打ち合わせ
9月2日	東京都	園舎開発協議
9月26日	板橋区	道路課
9月29日	板橋区	養成校訪問
10月15日	第二回三者協議会	園舎の説明
10月28日	板橋区	事前協議書提出
11月17日	板橋区	計画承認申請
11月22日	板橋区	区立板橋保育園園見学
12月10日	第三回三者協議会	事故防止・安全対策、虐待防止と個人情報保護
12月19日	板橋区	板橋区保育課 高階すまいる保育園見学
1月10日	板橋区	自治会長挨拶
1月31日	東京都	地代（賃料）・保証金確定
2月4日	第四回三者協議会	保育計画・指導計画、年間行事予定等
2月14日	板橋区	児童福祉施設（民間保育所）の計画承認
3月23日	板橋区	区立板橋保育園園見学

○ 今後のスケジュール

令和5年	
4月	板橋保育園開設準備室の設置

	開発許可・確認申請の承認、入札公告
5月	入札、建築契約、東京都との借地契約
6月	園舎工事着工
令和6年	
1月	園舎工事竣工
4月1日	開園

(2) 保育について

本年度は認可保育園4園、企業主導型保育所1園の5園全体で、171名の職員が350名の園児の保育を行った（令和5年3月1日現在）。

1) すまいる委員会について

令和四年度「すまいる委員会」は5部会・14委員会にて行った。毎月各園から委員が集まり、委員会にて実践報告や提案を行い、その成果を各園保育に反映した。本年度はあゆみの会の保育を取りまとめた「すまいる保育ガイドライン」を作成、各園の保育の指針・手引きとして活用していくこととした。委員会の活動成果については、別添する。

令和4年度の部会・委員会

部会名	委員会	主なテーマ
保育部会	01委員会	保育ガイドライン・年齢別年間計画
	12委員会	保育ガイドライン・年齢別年間計画
	35員会	保育ガイドライン・年齢別年間計画
研修部会	研修自己評価委員会	令和4年度研修計画
	クオーレ監査委員会	内部監査・指導監査対応
安全部会	安全委員会	保育ガイドライン
	看護委員会	保育ガイドライン
食育部会	保育食育委員会	保育ガイドライン
	厨房食育委員会	保育ガイドライン
総合部会	人権委員会	保育ガイドライン
	ガイドライン作成	玩具・遊具マニュアル
	地域委員会	ひろば・地域支援
	子育て・広報オンライン	コドモンの導入
	事務オンライン	労務管理システム導入

① 令和4年度のすまいる委員会アドバイザー

子ども教育宝仙大学保育学科准教授 富山大士先生（保育アドバイザー）

- 法人各園を保育環境評価ツール ECARS (Early Childhood Environment Rating Scale) により、保育者とともに保育・保育環境を振り返るクオーレの日に同行、巡回指導をいただく。
- 汐見稔幸先生主宰「臨床育児・保育研究会」の事務局、キャリアアップ研修の講師や私立保育園連盟

の研修部と連携するなど、全国の優良園や研究者と幅広いネットワークを有している。

- ・ 当アドバイザーより国内外での特筆する保育実践や園見学や連携、法人の園内研修の際のテーマ別の講師の紹介等、新卒保育士の採用等、幅広い支援をいただいている。

一級建築士・子ども環境アドバイザー・株式会社 Integral Design Studio

代表 井上寿先生（保育環境アドバイザー）

- ・ 井上先生は子どもの発達のための環境整備の第一人者の一人である設計士仙田満先生の環境デザイン研究所において長らく設計士として勤務を担当。
- ・ 汐見稔幸先生主宰「ぐうたら村」理事、文科省の施設整備指針の策定等に関わるなど学術的な研究も多く、全国の多くの園からの依頼により園庭、保育環境の改良整備を行っている。
- ・ 法人各園の子どもたちの保育環境を整備するため、保育者（保護者の方）とともに、環境整備のワークショップにおいてロフトやブランコ、すべり台等を制作するなど、園庭や保育室の保育環境を整えている。

② 課 題

ルール・マニュアル・チェックリスト等が確実に履行される仕組み CP（コンプライアンス・プログラム）を作成する必要がある。遵法精神を高め委員会での確認事項については「すまいる保育ガイドライン」に反映していく。

委員会の開催が保育の体制に負荷をかけぬよう、開催頻度、内容、会議時間等を検討する必要がある。

3) 園舎・園庭の環境設定について

① 令和四年度 井上環境アドバイザーによる園舎・園庭整備

開催日	開催場所	ワークショップ内容
5月6日	三丁目すまいる保育園	玄関本棚、01歳児ロフト制作
10月21日	高階すまいる保育園	0歳児ウッドデッキ、01歳児用ロフト
11月10日	伊佐沼すまいる保育園	2歳児室内ロフト、園庭遊具
3月8日	鶴ヶ岡すまいる保育園	2歳児ロフト、2Fロフト、園庭遊具

ワークショップの様子

		
子どもの安全に関する講義	完成した園庭遊具	用具の使い方

② 令和四年度 富山保育アドバイザーによる園内研修

開催日	研修内容
4月14日	ミドルリーダー研修
5月30日	板橋区私立保育園同行研修・環境調査

7月14日	世田谷区私立保育園同行研修・環境調査
7月15日	世田谷区私立保育園同行研修・環境調査
8月19日	ミドルリーダー研修
9月16日	ミドルリーダー研修
10月28日	ミドルリーダー研修
1月20日	ミドルリーダー研修（宝仙こども大学松浦先生研修）
2月17日	ミドルリーダー研修
3月16日	ミドルリーダー研修

③ 保育環境ラボの取り組み

9月9日	保育環境・遊具研修・実践発表
10月26日	保育環境・遊具研修・実践発表
12月26日	東洋大学高山静子先生 保育実習室訪問
1月26日	保育環境・遊具研修・実践発表
2月22日	保育環境・遊具研修・実践発表
3月20日	保育環境・遊具研修・実践発表

令和3年度より、富山アドバイザーの発案の下、発達に適した保育玩具・環境を若手保育士を中心とした自主勉強会「保育環境ラボ」がスタートした。瀧薫先生「保育とおもちゃ」高山静子先生「保育環境の理論と実践」をテキストに玩具・遊具、保育環境について学び、各園の保育環境を整備した。

本年度は東洋大学高山静子先生の保育実習室を訪問し、直接保育環境について学んだ。子どもたちの発達支援につながる遊具・教具の選定が丁寧に行われていることを確認した。

4) 法人の主な研修・勉強会等

第一回合同研修	令和4年度の準備・課題の確認	5月28日
第二回合同研修	体制発表・本年の振り返り	2月25日
第三回合同研修	佐佐木講師 マナー研修	3月25日

研修名	研修内容	開催日時
パパフレネの会	フレネ教育の研究	5月12日
パパフレネの会	フレネ教育実践研修	5月21日、22日
第一回合同研修	令和4年度の保育について	5月28日
パパフレネの会	フレネ実践・汐見先生講演	6月4日、5日
中村章啓先生研修	保育ドキュメンテーション	6月17日
パパフレネの会	研修会総括	6月22日
中村章啓先生研修	保育ドキュメンテーション	8月27日
パパフレネの会	フレネ教育実践研修	2月7日
鈴木真廣先生講演	埼玉県私立保育園連盟	2月16日
村上千秋先生講演	埼玉県こねっと	2月27日

(他園見学) ひより保育園、ドリーム保育園、阿久根めぐみこども園、わかな保育園
 芦花の丘かたるば保育園、おおわた保育園、風の丘めぐみ保育園、秋田チャイルド園

5) オンライン化について

○ コドモン

保護者の登降園管理についてはアイパッドによる打刻管理に変更、保育アプリ「コドモン」を導入した。
 その他、園内配布物をコドモン資料室に掲載することで、事務負担の軽減とペーパーレス化を図った。

3歳未満児の保護者との間で日々交換される連絡帳をオンラインに切り替えるため、2月～3月、試験運用を行った。オンライン化により連絡帳の入達・取達等による個人情報漏洩を防止することが出来る。

○ J I N J E R

勤怠管理については、タイムレコーダーの試験運用を行ったが、変形時間労働制への対応が難しく導入には至らなかった。就労者が160名を超え採用・異動・退職等に伴う社会保険、労働保険や年休管理など人事関連の業務が増加しており、労務管理ソフトJ I N J E Rの導入、年度末に行う、有期雇用契約を同システムでオンライン更新した。

○ P Xまいポータル

給与明細・源泉徴収票を紙面配布よりオンライン配信に切替、ペーパーレス、作業効率が向上した。

○ H P

板橋保育園準備室のHPを立ち上げ、広報を行った。

○ グーグルアンケートフォーム、スプレッドシートの活用

帆誤差からのオンライン意見箱、保護者向アンケート、職員の就労意識調査、研修参加アンケート等様々な場面でグーグルアンケートフォームを活用した。

姉妹園間、園と本部のとの情報共有、合同の行事等にグーグルスプレッドシートを活用、進捗管理などを行った。各園から各園から本部への問合を電話からスプレッドシートでの問合に切り替え、応答についてFAQ化を図ることが出来た。

6) 施設等指導監査について

本年度は法人監事監査（6月3日）、川越市指導監査（7月7日 高階すまいる保育園、伊佐沼すまいる保育園）、児童育成協会（7月28日 となりのすまいる保育園）、ふじみ野市（12月20日 となりのすまいる保育園）、埼玉県（11月16日 法人本部監査）、埼玉県（書面監査 鶴ヶ岡すまいる保育園・三丁目すまいる保育園）が行われた。

行政監査に先立ち、法人の内部監査を実施、順法意識を高めることができた（伊佐沼 6月20日、高階6月23日、三丁目8月23日、鶴ヶ岡8月24日、9月8日）。

自治体等の監査について各施設とも特段の指摘はなく、社会福祉法人、認可保育園、企業主導型保育園のルールに従い問題なく運営されていることが確認された。

自己評価ガイドラインを基に保育所による保育内容の評価、保育者の専門性や職員間の協働性を高めていくための取り組み（保育者による保育内容の評価）を行った。保育者自己評価チェックリストにより年間2回のチェックを実施、法人すまいる委員会委員により「すまいる保育ガイドライン」の作成を行った。

自治体等、指導監査の状況

伊佐沼すまいる保育園	7月7日	川越市	指導監査	指摘事項無し
高階すまいる保育園	7月7日	川越市	指導監査	文書指摘1件
となりのすまいる保育園	7月28日	児童育成協会	立入調査	文書指摘2件
	12月20日	ふじみ野市	立入調査	要望事項1件
法人本部監査	11月16日	埼玉県	指導監査	文書指摘2件
鶴ヶ岡すまいる保育園	3月15日	埼玉県	書面監査	指摘事項無し
三丁目すまいる保育園	3月15日	埼玉県	書面監査	指摘事項無し

(2) モニターカメラの設置について

令和4年度は法人園全園の保育室にモニターカメラを設置した。モニターの設置により感染症対策だけでなく、子どものけがやトラブルの状況把握、保育の改善など大きな効果が得られた。

特に子どものけがやトラブルを保護者の方に説明する際、映像を確認し事実を伝える、場合によっては保護者の方にもモニターを確認していただくなど、保育園、保育に対する理解を深めることが出来た。また午睡の見守り方の改善や閉じ込め防止への注意喚起など、映像を確認することで保育を改善することが出来た。

(3) 本部機能の充実について

事務委員会により人事・経理・総務について、園と本部との連携を深めた。園の事務担当者が本部事務を体験するなど、相互交流を行い、双方の理解を深めた。ICT化を進め、情報や行程管理を共有することが出来た。

(4) その他

1) 理事会

令和4年6月3日

令和4年12月17日

令和5年3月25日

2) 定期評議員会

令和3年6月18日

以 上

令和4年度 伊佐沼すまいる保育園 事業報告書

1. 令和4年度 総括

今年度は「自由な空間の中で主体的に関わる」「自然に触れる、自然を楽しむ、自然を感じる」「自分を好きに、自分を大事に」という3つを保育テーマとして取り組んだ。中でも、保育園の立地環境の特徴でもある「自然を活かした保育」ということについては、保育内容、保育環境などでクラスごとに話し合いを重ねながら深めていくことができた。

3歳以上児の保育として、春先から身近な生き物や植物を活かしたネイチャーゲームや色への関心から植物での草木染めを継続的に取り入れた。たんぽぽや人参、ツツジ、たまねぎなど多くの植物を使って布が染まる過程を楽しんでいた。それら一つ一つの活動を通じて、子どもたちの興味、関心が広がり、更に探求心や好奇心といった心の発達が深まっていくことを感じた。これらの一連の活動について、ソニー幼児教育支援プログラム、「科学する心を育てる」実践論文に応募し、奨励園という形で評価していただいた。論文を書くにあたり、保育者と何度も対話を重ねる機会をつくったことで、保育者自身の子どもを観る目や視点などについて多くの気づきや学びを得ることができたと感じている。

園内の環境として、すべての室内と園庭、園舎裏に防犯カメラを設置した。防犯カメラを設置したことで、子ども同士のトラブルや怪我などの際に明確な情報確認ができることが多くなり、保護者への連絡やヒヤリハットの分析、保育者間の情報共有においても非常に有効であり、保育者の安心感にもつながっている。

また、園内のほとんどのエアコンを除菌機能がついたエアコンに取り換えた。今年度も新型コロナウイルス感染症やインフルエンザといった感染症が見られたが、園内や玩具の消毒、換気などと合わせて、安心して生活できる空間づくりを心掛けていきたい。

【ソニー幼児教育支援プログラム、「科学する心を育てる」実践論文】



染物に挑戦する
子どもたち

【防犯カメラ】



保育室内の防犯
カメラ
子どもたちの怪
我の状況などが
明確に確認でき
るようになった

【除菌機能付きエアコン】



除菌機能付きエアコン
音頭著説に加えて除菌も可能になった

11月に環境整備のワークショップを行った。ワークショップを迎えるにあたってロフトなどの新しい環境を創るという事よりも、今まで作ってきたロフトなどの見直しを中心に行った。環境整備を始めて数年にわたりロフトなどを創ってきたが、改めて職員同士で「ロフトで遊んでいるのだろうか」「私たちはどのような願いを持って環境を創っているのだろうか」といったことを中心に話し合いを行った。話し合いを重ねていくことで、保育者一人一人のロフトに対する思いや子どもたちの姿の共有、そして環境については「こうしたい」という共通認識を持つことができた。更に、昨年度より保護者の参加も呼び掛けてきたが、今年度は4家庭、6名の保護者に参加が見られた。

ワークショップでは、にこにこ組、わくわく組の既存のロフトに壁を作ることで、より「お家」のようなイメージを持ちながらごっこ遊びが楽しめるようおままごとスペースとした。また、園庭の土台については、難易度を高めると共にゆっくりとくつろげる場所となるよう2面に板を貼り周りの目から見えにくいスペースとしてみた。話し合いを重ねてきたことで職員の思いが明確となり、アドバイザーの井上先生に自分たちの意見として積極的に相談を持ち掛けながら取り組むことができた。

保護者の中には昨年度から参加してくださっているご夫婦に加え、DIY好きの方や子どもたちのためにできることがあればとお休みをとってくださった方など多くの方にご参加いただいた。一緒にワークショップに参加してもらえることで、ロフトなどの環境が必要な意味や高さ設定などどのような考え方で作られているのかといったことをお話ししながらできたことで、想いを共有することができたと感じている。ワークショップに参加してくれた保護者の感想には、「今後も継続して参加したい」「もっと仲間に呼びかけてみます」といったものがあり、今後も保護者とともにより良い園づくりに取り組んでいきたいと思っている。

【園庭環境整備例】



ワークショップの様子
保護者の方と一緒に環境を創ります

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	1	2	2	5	7	7	7	9	9	10	10	10
1歳児	14	16	14	15	17	16	14	13	13	13	13	12
2歳児	14	14	14	13	13	13	13	13	13	12	12	12
3歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
4歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
5歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	29	34	39	33	15	22	28	21	30	32	28	30

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	7人	保育士	7人	看護師	0人	栄養士	1人	支援センター	0人
パート職員	23人	保育士	10人	看護師	2人	栄養士	2人	支援センター	2人
調理員	1人	嘱託医	2人						

職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	30	30	30	29	30	30	32	33	34	34	34	35	381
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	9	9	9	8	8	7	8	8	8	8	7	7	96
うち保育士パート	9	9	10	10	10	10	10	9	9	9	9	10	114
うち看護師	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18
うち調理員	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	41

うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
うち産休育休	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	9
うち保育補助	4	4	4	4	5	6	6	6	7	7	7	7	67

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して、栄養士、調理員、保育者が連携する
地域 WT	地域ともに育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める
保育 WT	保育部会の内容を委員会メンバーで共有し、保育内容や環境に活かす 虹グループの移行について、連携を取り合う

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添うよう努めた。特に環境についてはプロジェクトチームを立ち上げ、職員間の対話を重ねながら子どもにとってより良い環境とは何かなど考え、想いを形にするよう心がけた。 ・職員とは定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	・現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた。また、保護者・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安を解消した。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・日々の連絡帳や口頭による要望、ご意見箱に投函された書面、保護者会役員からの質問等にはその都度対応した。連絡帳などに書ききれない内容は直接やりとりする場を設けた。 ・子どもの育ちの共有や個別の意見に対する対応として、個別面談を数回行う機会があった。保護者の方からすると、直接やり取りすることで納得できる内容が多く、やはり一つ一つ丁寧に伝えていく必要があると感じた。

(2) 年間行事の振り返り

・今年度の行事は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、併せて保護者の方のご意向をアンケートにて伺いながら検討した。その結果、夕涼み会や親子触れ遊び会、ウィンターフェスタのいずれの行事も規模を縮小して行うこととなった。保護者のご意見の中には、「感染症は心配だけど、できる限り参加したい」「どのような形でも良いので開催してほしい」といったものが多く、少しでも子どもたちの保育園での姿や成長を感じることでできる場を求めていることが分かった。今年度は、夕涼み会を2歳児以上、親子ふれあい遊び会とウィンターフェスタは3歳児以上の行事とした。

コロナ禍となり、地域の方を招待したり一緒に楽しむ場を持つことができていなかったが、夕涼み会を検討している際に地域のお祭りで太鼓を叩いている方がいることを知り、行事の中で太鼓を叩いてもらえることとなった。盆踊りの際に、本物の大きな太鼓や鈴などを使ってリズムを取ってもらえたことで一気にお祭りの雰囲気が高まり非常に良い行事となった。

ウィンターフェスタでは、保護者の方にダンスやピアノ演奏、歌などを披露してもらうことができた。また、サンタ役も多くの保護者の方が引き受けてくださり、プレゼントのやり取りをしてもらうことができた。それにより、より行事の中での保育者と保護者、子どもたちとの一体感が高まり、一緒に楽しむことができたと感じている。このような積み重ねが、園理解や信頼関係を深めていくことに繋がっており、保護者と共に行事を作り上げていくことの大切さを感じた。

・園外保育に関しては、星、宙グループが「けやの森学園」や「今昔村」に行くことができた。(今昔村は雨天の為、となりのすまいる保育園との交流に変更) コロナ禍となり、このような園外保育の機会が少なくなっているが、少しずつ近隣の公共施設を利用するなど、保育園以外の社会とつながる経験をたくさん作っていききたいと思う。

けやの森での遠足にて



(3) 給食・食育運営状況

・個々の発達や生活リズム等に合わせて、和やかに食事が出来るよう、個々の気持ちを尊重した関わりを心がけ、一人ひとりのペースに合わせて食事が摂れるようにしている。

・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一方向を向いて1テーブル2名で食事を摂るようにした。また、クッキング活動も感染状況を考慮して中止や延期の判断をしながら、直接手で触れないような食育活動で代替えをした。(野菜の皮をむく、洗う、切る等)

・3色食品群についての活動を新たに取り入れた。食材マグネット、3色食品群ボードを作成し、年長児のお当番活動で、翌日の献立に使用される食材を自分たちで色分けし、貼り付ける活動を取り入れた。子どもたち同士で、「この食材は体にどんな良い働きをしてくれるのか」「この食材は何の食材から作られているのか」など考えられるようになった。

・今年度は食育活動にSDGsに関する活動を積極的に取り入れてきた。具体的には、園庭の一角にコンポストを設置し、ごみの削減を目指した。年長組のお当番活動で給食の下処理段階で出る野菜くずをコンポストへ運ぶ取り組みや、3歳以上児クラスの子どもたちで残食量の計測を行い日々の増減を見ることで、自分が完食できる適正量を意識して配膳を行うことを意識するようになった。また、図書館でゴミの行方についての本を借り、読んでいくうちに給食（生ごみ）を残したら海がなくなる（埋め立てられる）ということを知った子どもたちは、さらに適正量を意識するようになっていった。ゴミの量は、1回に10キロ以上の削減となっており、月の量に換算すると100kg以上の削減に繋がっていることがわかった。（下記の表を参照）子どもたちと共に今後も継続して取り組んでいく必要があると感じている。

【令和4年度 ごみの量の推移 2月末まで（kg）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
可燃	269	296	311	349	227	198	199	209	176	157	154
不燃	6	7	6	5	7	4	6	4	6	5	6
古紙	14	22	26	31	18	25	14	17	22	29	11
合計	289	325	343	385	252	227	219	230	204	191	171



コンポストのお当番活動



三色食品群のお話

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施（6月3日・11月18日）
歯科検診	年1回実施（6月22日）
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	年度内：全職員 毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	突発性発疹・プール熱・ヘルパンギーナ（いずれも単発での感染で集団感染には至らず）手足口病（26名）・インフルエンザ（16名）（感染力が強く感染者は多いが、短期間での終息をする）新型コロナウイルス感染症（主に家族からの感染）
その他、保健に関する取組	5月29日、6月12日に普通救命救急講習受講 8月12日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

(5) 安全対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(金)	避難・初期消火	無	無	
5月13日(金)	避難・初期消火	無	無	
6月15日(水)	避難・初期消火	無	無	
7月15日(金)	避難・初期消火	無	無	
7月25日(月)	避難	無	無	水害訓練
8月18日(木)	避難・初期消火	無	無	
9月15日(木)	避難・初期消火	無	無	
10月14日(金)	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	有	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11月28日(月)	避難・初期消火	無	無	
12月15日(木)	避難・初期消火	無	無	
1月16日(月)	避難・初期消火	無	無	
2月13日(月)	避難・初期消火	無	無	
3月22日(水)	避難・初期消火	無	無	水害訓練

2. 非常災害備品の設置

- 賞味期限を確認して、非常食の入れ替えを行い、備蓄用品を点検した。
- 新たに台車2台、アルファ米炊き出しセット(50食)、簡易トイレを購入。
- 水害訓練：7月25日(月)

3. 侵入者、不審者訓練・水害訓練

- 5月27日(金)園内にて不審者対応訓練を実施する。(警察指導あり)
- 9月22日(水)園内にて不審者対応訓練を実施する。

＊お散歩先での不審者訓練を行う。警察の協力だけでなく、川越運動公園の事務所とも連携を取り、合同訓練として行った。今回川越運動公園の事務所と連携を取ったことで、訓練時だけでなく通常のお散歩のときも事前に連絡を入れることで、子どもの見守り体制を作ってもらえることや緊急時にすぐに連携を取れるという事になり、地域との連携の大切さを感じた。

4. 実施した環境整備の状況

- 園庭の日よけ用に遮光ネットを設置し、風邪や雨など天候に合わせて適宜取り外しながら対応した。
- 熱中症に関しては、基本的には指数を参考に対応した。以前は指数の高いときであっても、計測する保育者の感覚によって差異が見られていたという課題があったため、統一することで対応の統一を図った。

5. 園外保育での緊急時シュミレーション(散歩の日)

- ・ 12月28日(水) わくわく組 園内にて不審者が来た時の合言葉で集まる
 - ・ 1月31日(火) にこにこ組 嘔吐対応シュミレーション
 - ・ 2月2日(木) わくわく組 不審者対応シュミレーション
 - ・ 2月28日(火) わくわく組 天候不良対応シュミレーション
 - ・ 2月28日(火) にこにこ組 怪我発生対応シュミレーション
- ※来年度、年間で計画を組み毎月訓練として行う予定。

(6) 地域との関わり

ア 子育て支援

- ・ 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事への参加や近隣の方を園内の行事にお誘いする機会は少なかった。その中で、夕涼み会の際に地域の太鼓を叩いている方と出会い、行事にて実際に叩いてもらうことができた。お祭りの雰囲気も高まり、非常に楽しい行事となったと思う。
- ・ つどいの広場に遊びに来てくれた方に関しては、園庭遊びや焼き芋など可能な範囲でかかわりを楽しんでもらった。
- ・ つどいの広場に関しては、新たに誕生会や手形アートの日、お花の日を近隣散歩にするなど新しいイベントも作りながらより多くの方に遊びに来てもらえるよう工夫した。また、制作の日は予約組数が多く人気のイベントとなっていたため、月に2回の開催とし多くの利用者の方に参加してもらえるよう工夫した。
- ・ 園だよりを地域の回覧と一緒に配布させていただいているが、今年度は自治会長様との連携により、新たに2つの地区(二ノ関地区、宿地区)にも回覧できることとなり、より多くの方に園だよりを見ていただくことができた。

7. 危機管理

- ・ 法人として散歩時の見直しがあり、改めてお散歩マップの作成を行った。実際に公園を回ってみることで、以前の作成時にはなかったものや危険個所が変わっている箇所が数か所見られた。少なからず毎年年度初めには実際に歩いて確認してみるものの大切さを感じた。人数確認においては、子どもの人数から一人一人「人」の確認を行うこととした。前日の散歩計画の確認、当日の出発前、散歩先の到着時、帰園前、帰園後に人の確認を管理職と共に行うことで、より明確に確認が取れるようになった。また、体制等無理がある場合は散歩を取りやめるなど安心、安全を第一に考えるようにした。確認を始めた当初は時間がかかってしまうことがあり子どもを待たせてしまう時間も多くなってしまったが、少しずつ慣れてきたことで確認がスムーズになってきた。今後も慣れが「慣れあい」とならないよう、子どもの安全をきちんと確保していきたい。

- 防犯カメラの活用により、子どもの怪我についてほとんどのケースにおいて状況確認が取れるようになった。状況が把握できるようになったことで、怪我の対処に加えて保護者の方に具体的にお伝えできるようになり、安心感にもつながっていると感じる。
- 気づきノートがきちんと共有されていなかった為、職員のワークスペースに置いてあるパーテーションに付箋で貼り付けることで、より目にしやすいよう工夫した。それにより、日常のちょっとした気づきが共有されやすくなったと感じる。
- 園児の怪我については、マニュアルで決められている通り救急オンラインの活用などにより病院受診等の判断が明確になった。
- 毎月の避難訓練では、計画通りに実施するだけでなく訓練の際に出た反省を踏まえて翌月の訓練に繋がれるよう安全 WT での話し合いを行った。避難訓練の中の PDCA サイクルが回るようになったことで、保育者間の連携などが高まったように感じる。地震や火事の訓練だけでなく、水害訓練、防犯訓練も合わせて計画的に行うことで、職員の動きが明確になってきた。このような訓練については、きちんとした積み重ねが大切だと感じる。また、大規模災害計画も整備した。書面としては整備されたが、職員の体制づくり、動きなど計画に重ね合わせながら見直していくことが必要となってくる。

1. 職員研修(園内研修)

【令和4年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
5月 14日	・アレルギー ・SIDS ・散歩マニュアル ・熱中症 ・個人情報 ・誤飲誤嚥 ・虐待について ・散歩時の対応 ・消毒について ・ヒヤリハットについて ・不審者訓練について	18名
5月 28日	★合同園内研修 ・休みの取り方について（有給申請、出席簿など） ・食事、排せつ、着脱介助について ・子どもの見方（キラキラシート） ・手話講座 ・環境設定のポイント	13名
6月 4日	・普通救命講習	13名
6月 11日	・普通救命講習	15名
8月 27日	★保育の深さを感じ、保育を振り返ろう 野中こども園 中村章啓先生	11名
10月 1日	・緊急時の対応について ・人権のセルフチェック ・虐待について ・給食についての確認状況について ・にこにこ会、わくわく会	14名
11月 26日	★合同園内研修 ・散歩マップの作成 ・コミュニケーション能力向上ワーク フィリップス美穂先生 ・保育実践研修報告 ・保育の安心、安全の再確認	15名
12月 17日	・虐待について 保護者（小林さん）ZOOMにて参加	15名
12月 25日	・大掃除	18名
2月 25日	★合同園内研修 ・研修報告（神戸まや保育園 ・掛札先生の深刻事故の責任 ・事例検討 ・ヒヤリハットについてのグループワーク ・かかわる保育とは ・研修報告（東洋大学高山先生研究室、園内研修コーディネーター ・令和5年度の計画類作成	15名
3月 25日	・新年度準備 ・大掃除	18名

令和4年度 三丁目すまいる保育園 事業報告書

1. 令和4年度 総括

今年度は生活の中に絵本・わらべ歌を取り入れた保育に努めました。

絵本はいままで通り月間絵本を通し家庭とつながりを持っていきました。また、5月のDIYにて玄関エントランスに絵本棚を設置したことで、お帰りの際親子での絵本の読み聞かせの時間をとる姿が多く見られたり、貸出を利用される保護者の方も増えました。

5月のDIYでは、にこにこ・わくわくに新しいロフトが設置されました。1階のにこにこの保育室は合同保育でも使用されるため、2歳児にとっても楽しい空間になりました。園庭がない分体づくりに苦戦していましたが、ロフトの下をはいはいで通り抜けたり、滑り台を上ったり下りたりと全身を使った動き・頭を使って工夫する姿・やってみたいと思う気持ちの成長が日常から体験できる環境になりました。6月からの暑い時期は、室内で過ごす日々が続き、感触の違う素材を感じる遊びやカブト虫・クワガタの生き物とも触れ合う時間となりました。

わらべ歌は毎月曲を決め、保護者・職員。地域の方に向けてYouTubeを配信しました。

クラスの担任が行うことで、子どもも覚えて歌う姿も出てきました。わらべ歌を通し、体と心の安定にもなりましたし、異年齢との交流にもなりました。

保護者参加の行事は昨年度同様ではありましたが、少しずつ参加型になりつつあり、懇談会は対面式で行うことができ、多くの方と時間を過ごすことができました。

行事を通して子どもたちに豊かな経験ができる計画を立て、となりの幼児とも交流が増えていきました。

保育の他では、つながる相談窓口や衣類バンク・フードドライなど地域の活動にも貢献している。



2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	10	10	9	12	15	15	15	15	15	15	15	15
1歳児	24	24	24	24	24	23	24	24	24	24	24	24
2歳児	23	24	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24

延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	59	55	65	72	51	72	88	91	94	83	78	

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	人	保育士	8 人	看護師	1 人	栄養士	1 人	事務	1 人
パート職員	人	保育士	17 人	看護師	3 人	栄養士	1 人	事務	6 人
調理員	2 人	嘱託医	2 人						

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	1	2	2	2	0	2	2	2	2	1	0	0
フリー会	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
保育 WT	活動が豊かに展開されるように、書類の作成、CCW の活用、研修を受けて環境の見直しなどを行う。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・日中の保育だけでなく遅番のヘルプなど、積極的に子どもの中に入ること ・子どもたちの様子から見えるエピソードなどを共有し、環境整備などの相談に乗れるよう努めた。 ・職員とは自己評価を基に定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。 ・子ども発達支援巡回事業を利用し、発達発達に不安のあるお子様の様子を見てもらい、助言を頂く。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・特に保護者からのご意見を頂くことがなかったため、面談等は行っていない。

(2) 年間行事の振り返り

保護者参加の行事は昨年度同様ではありましたが、少しずつ参加型になりつつあり、懇談会は対面式で行うことができ、多くの方と時間を過ごすことができました。

8月の夕涼み会では絵具遊びから色に興味を持ち泡遊びから染物に挑戦しました。Tシャツに玉ねぎ染めをして法被として着て楽しみまた、保護者会が作成して頂いた、おみこしを担いでお部屋を回ったりと、お祭り気分を味わうことが出来ました。

親子参加ではなかったのですが、一週間を通して絵本を読んだり、制作を行ったりと友だちや保育者と季節を感じられる行事を体験できたと思います。行事を通して子どもたちに豊かな経験ができ、となりの幼児とも交流が増えていきました。



給食・食育運営状況

食育活動では、毎月様々な形で2歳児を中心に、食材に触れてきました。月々の旬の食材を意識し、皮むきや、洗浄などで本物の食材に触れることで、匂いや感触を感じることが出来た。0歳児であっても、その時の表情や給食に出てきた時の反応があり触れることの大切さが感じられた。また、子どもたちの意見を聞き、野菜を育てていきました。食べ物ができる過程を体験し、食に対する興味が増したと感じられる。

また、食事中の子どもたちの様子をしっかりと見守るために、「食事中の心がけ」を見ながら食事の介助、見守りを行っている。見守り方を共有することで、姿勢や足の位置、を意識することができ、誤飲防止、事故防止、に繋がっている。

今年度から、個々の食事の様子を把握する書類を作成し、保護者と共有している。

(3) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月14日と10月25日の2回実施
歯科検診	6月8日の1回実施
保健だより	毎月家庭数配布
安全ニュース	年3回家庭数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当実施
流行した感染症	・1月にインフルエンザに 名感染した。 ・その他は、胃腸炎など季節ごとに感染する子どもは見られたが、多くの感染者は見られなかった。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の指針に基づき対応をする。
その他、保険に関する取組	6月11日・6月18日・7月2日・7月9日・7月16日 普通救命救急講習受講 8月14日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

(4) 安全対策

ア 防災対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(金)	地震・火災・消火	無	無	
5月13日(金)	地震・火災・消火	無	無	
6月15日(水)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
7月14日(木)	地震・火災・消火	無	無	
8月18日(火)	地震・火災・消火	無	有	
9月15日(木)	地震・火災・消火	無	無	
10月14日(金)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
11月15日(火)	地震・火災・消火	無	無	
12月15日(火)	地震・火災・消火	無	無	
1月16日(月)	地震・火災・消火	無	無	
2月1日(水)	地震・火災・消火	無	無	
3月13日(月)	地震・火災・消火	無	無	

2. 非常災害備品の設置

アルファ米 15 キロ・白がゆ・保存水 2 リットル 12 本・防災ノーパンク散歩車
・災害用ライトを新たに購入
簡単湯沸かし器の交換。

3. 侵入者、不審者訓練

・11 月 7 日に東入間警察署立ち合いによる防犯指導を受ける
玄関の施錠時間の徹底
園周りの確認・各保育室の動線確認を行う
不審者がいたら防犯カメラに不審者が映るように誘導
ほうき・モップ・催涙スプレー・警棒・熱湯等十分に対応できるもののあり場所の記載をしておく

4. 実施した環境整備の状況

・5 月の DIY では、にこにこ・わくわくに新しいロフトが設置されました。1 階のにこにこの保育室は合同保育でも使用されるため、2 歳児にとっても楽しい空間になりました。園庭がない分体づくりに苦戦していましたが、ロフトの下をはいはいで通り抜けたり、滑り台を上ったり下りたりと全身を使った動き・頭を使って工夫する姿・やってみたいと思う気持ちの成長が日常から体験できる環境になりました。わくわく組の環境が、より一層子ども自らが環境に働きかける教具をそろえるために、1 級建築士（保育環境学会会員）の専門家の指導により、それぞれ登る高さが異なる二つのロフトを作り、子どものやってみたくなる環境を整えました。

- ・8 月には 2 階わくわくのお部屋に水槽を設置しました。生き物を通して自身の感じた思いを言葉にしながら毎日観察する姿も見られています。
- ・玄関に絵本棚を設置したことで、お迎え時親子で絵本を手に取り読み聞かせをしている姿も見られ、穏やかな時間となっていました。



(5) 地域との関わり

市、自治会への参加

- ・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃・ラジオ体操に参加

公益的な取り組み

「つながる相談窓口」開設 ステッカー、のぼりの設置 「衣類バンク」
保育年間計画の可視化 可視化して保護者に掲示

7. 危機管理

- ・毎月ヒヤリハットの分析を行う。リスクの高い事例に関しては、具体的な対策などを話し合っ
次の事故防止に努めた。

- ・他園で起きた事故事例を安全委員会で確認し、注意喚起を行うとともに、自分での対応などを話し合った。
- ・誤飲事故を防ぐために、「食事中の心掛け」を共有し、食事の見守り方を徹底した。
- ・10月28日の散歩時の置き去り事故を踏まえ、人数確認から人間確認を場面の切り替え時間帯に応じて行う。
- ・散歩時はビブスを借用し、地域の方から散歩中であることを視覚で知らせ、横断旗を持つことで車・バイクから横断することを知れさせている。
- ・発達に合った公園を再度確認し、公園内の危険箇所や通路の交通量や危険箇所をしおりにまとめ職員で周知した。
- ・保育室にロフトが増えたことで、ロフトの遊び方を職員間で話し合った。

8. 職員研修(園内研修)

【令和4年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
5月14日	安全について 合同園内研修	24名
5月21日	暮らしの日 vol.1 (三丁目)	19名
5月28日	合同園内研修(通達、委員会発表・Zoomにて)、すまいる保育園10のコツ、自己評価の気付き、グループディスカッション	15名
6月4日	普通救命救急	8名
6月18日	暮らしの日 vol.2(となり)	17名
7月2日	普通救命救急	4名
	暮らしの日 vol.3 (玩具の整理)	14名
7月9日	普通救命講習	4名
8月6日	監査書類準備	8名
8月27日	野中こども園の保育について(中村先生)	14名
10月1日	令和5年度入所希望保護者説明会と安全について「私たちに何ができるか」	9名
10月8日	I.Uさんの救急搬送について	10名
10月29日	散歩先での事故について	15名
11月5日	暮らしの日 vol.4 (わくわく保育室の環境)	10名
11月12日	緊急保護者説明会	7名
11月26日	合同園内研修(お散歩マニュアル、散歩マップ作成、「みんなちがってみんなイイ」)	19名
12月17日	園内研修(環境設定、学びの時間)	16名
12月24日	大掃除	20名
2月25日	合同園内研修	28名
3月25日		

9. 外部研修

10. 【令和4年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
4/27	コドモンカレッジ	信頼される保育者になるためには ～保護者とのコミュニケーション～	Zoom	3名
5/12	コドモンカレッジ	多様な子どもの発達支援 ～環境構成の工夫～	Zoom	1名
5/18	コドモンカレッジ	ミドルリーダーの役割とは？ ～プレイヤーからリーダーへ～	Zoom	1名
5/24	コドモンカレッジ	「保育ドキュメンテーション」を活用した 園の保育の質の向上 子どもの主体の保育 の実現	Zoom	2名
5/27	コドモンカレッジ	絵本から広がる遊びの世界 ～絵本を用いた保育活動を紹介～	Zoom	2名
6/4	パパ・フレネの会 汐見 稔幸先生	子どもと先生と保護者が関わりながら 一緒につくる生活 それが楽しい保育 に！		1名
6/10	コドモンカレッジ	もっと知りたい！ 食物アレルギーとその対応	Zoom	5名
6/16	コドモンカレッジ	選ばれる園から無くてはならない園へ 園長に求められる4つのマネジメント	Zoom	1名
6/28	コドモンカレッジ	夏季の活動の安全管理 ～事例から学ぶ安全な環境作り～	Zoom	1名
6/29	埼玉県私立保育連盟	2歳児の多面的な子どもの理解 ～イヤイヤ期とブラブラ期～	Zoom	1名
6/30	ポピンズ	保育所保育指針及び幼保連携型認定こ ども園 教育・保育要領等に基づく保育	Zoom	1名
6/30	ポピンズ	保育所等における新型コロナウイルス 感染症 対策について	ZOOM	1名
7/21	ポピンズ	保育所等における児童虐待の防止	ZOOM	1名
7/21	ポピンズ	若手保育士とのコミュニケーション	ZOOM	1名
7/27	コドモンカレッジ	保育所における自己評価ガイドライン ハンドブックから学ぶ具体的な事例	Zoom	1名
8/9	ポピンズ	配慮が必要な子どもの理解と支援	Zoom	1名
8/9	ポピンズ	遊びの技術 ～パネルシアター・手遊び・読み聞か せほか～	Zoom	1名

10/3	ポピンズ	保育所等による地域の子育て支援	Zoom	1名
10/3	ポピンズ	多文化共生を拓く保育	Zoom	1名
10/25 10/26	埼玉県	防火管理責任者研修	入間東部地区事務組合消防本部	1名
11/18	埼玉県	衛生推進者	入間市産業文化センター	1名
12/5	ポピンズ	安全の確保とリスクマネジメント	Zoom	1名
12/5	ポピンズ	保護者とのコミュニケーション・相談援助	Zoom	1名
12/23	山縣文治先生	緊急セミナー 子どもの権利・主体としての子ども～不適切な保育を防ぐために～		1名
11/25	ポピンズ	医療的ケア児の理解と対応	Zoom	1名
11/9	ふじみ野市子育て支援拠点連絡会	心に寄り添う保護者支援とは		2名
10/8	埼玉医科大学小児科	子どもたちのアレルギー疾患		1名
6/4	けあの森学園	子どもと保護者が関わりながら一緒に つくる生活		1名
8/16		BCP オンライン		3名
8/27		野中こども園の保育について		1名
2023/2/10		保育と教育の価値とリスク、深刻事故 予防	ZOOM	2名
11/10 2023/2/21		ミドルリーダーの役割		1名
9/5、 2023/1/19 2023/2/3	2022 ペアレントメンター による発達障害オンライン講座	障がいを持つ子どもを育てた親から、 自身の経験をふまえて支援の仕方や方 法を学ぶ	ZOOM	1名
5/16.6/13. 7/11	もっとしりたい0.1.2歳 時の保育	新年度の受け入れ、保護者との関わり、遊 びなど	ZOOM	1名

【令和4年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
2/3. 4 1/21. 26 12/3. 5	食育・アレルギー対応	Zoom	5名
9/22. 29 8/5. 9. 10 8/9. 16 9/8. 10 9/22. 29 1/19. 24	保健衛生・安全対策	Zoom	7名

9/6、7 9/3、6 1/25、26	乳児保育	Zoom	3名
8/27、29 8/30、 31 1/23、28	保護者支援・子育て支援	Zoom	5名
8/1、8 9/16、20 10/7、8 9/12、13	マネジメント	Zoom	4名
8/25、29 1/30、 31	幼児	Zoom	2名
8/17、18 9/13、 14 9/9、16 8/12、13 1/14、 21 1/20、27 12/16、19	障害児	Zoom	8名

11. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ・ご意見箱や口頭、連絡帳・コドモンアプリ等で寄せられたすべての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応していく。
- ・令和5年2月1日より、「オンラインご意見箱」のURLを保護者にコドモンで配信し、意見が出やすくなる事で大きなクレームになる前にお伺いすることができるようになった。
- ・ケースに応じて、法人本部に報告、相談、指示を仰ぎながら対応していく。

2022年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 事業報告書

1. 2022年度 総括

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大は続き、感染状況に左右される一年となった。保育園では、園児、職員の感染も確認されたが、休園等保育への影響が出ることはなく、通常保育を継続することができた。

行事についても、コロナ禍で制限を設けつつも、少しずつ通常に戻すことを考え、開催した。その時期の感染状況や、保護者にアンケートを実施して意見を取り入れながら、「夕涼み会」は「夕涼みウイーク」での開催、年長児のみだが、小学校の体育館をかりての「親子ふれあいフェス」の実施、三歳以上児を対象とした、保護者を交えての「ウインターフェスタ」を開催することができた。地域の行事では、3年連続で「大井祭り」「七夕まつり」が中止になったものの、コミュニティセンターの「梅まつり」は開催され、わくわく組の子どもたちの作品を展示することができた。地域との関りも少しずつ再開。「ハロウィーン」は3年ぶりに、地域の方に協力をして頂いて行ったり、コミュニティセンターで行われている、お年寄りの集まりに年長児が参加、お年寄りとの交流も行うことができた。子どもたちと地域社会との関りは、地域の活性化にもつながると感じている。



梅まつりに出品したわくわく組の作品（お習字・LQ）



ハロウィーンで地域の方との交流

保育環境としては、今年度も、井上寿先生に來園して頂き、未満児のロフト、3歳以上児のロフトのリニューアル、園庭の遊具の修繕を行った。未満児のロフトは、ロフトの下の部分にLEDライトを設置することで、今までほとんど遊ぶことのなかった部分の有効利用をできるようにし、2段構造にすることで、遊びの幅や対象年齢も広がった。また、3歳以上児のロフトは、今までトンネルでつながっていたところを分け、それぞれ独立させることで、それぞれの発達の子どもたちがより落ち着いて遊びを展開できるようになった。新しいものを作るだけでなく、あるものを変えていく事も環境を整えるために必要であると感じた。



LEDライトを取り付けたロフト下



改造したロフトで遊ぶ未満児



トンネルをなくしそれぞれ独立した
2つのロフト

今年度も子どもたちと相談をして、畑活動を行った。昨年度の経験もあり、子ども達からはたくさんの野菜を育てたいという希望が聞かれた。話し合って種類を決め、一年を通して、たくさんの野菜を育てることができた。収穫した野菜は、みんなで調理をして食べたが、普段給食では食べないものにも挑戦する姿もあった。また収穫した野菜を「焼き芋大会」などの行事につなげたり、お店屋さんの活動をししたり、食育だけでなく、様々な活動につなげられている。

今年度の鶴ヶ岡すまいる保育園のテーマである 主体的に関わる(わらべ歌に親しむ・自然の中で五感や身体を使い遊ぶ・多様性を認め人と関わる・自分で考え、やり遂げる楽しさを感じる)につながっていると思う。来年度も保育環境を整え、様々な活動を通して子どもたちのすこやかな成長につながるようにしていきたいと思う。



苗を植え
収穫が
楽しみです。

大きな
芋がで
きました。



焼き芋おいしいね～!

《園バスの活用》

今年度は、姉妹園である三丁目すまいる保育園の卒園児を対象に、通園バスの運行を開始した。すまいるでの保育を希望しているが、距離的に遠くなることで毎日の送迎が困難なため、他園に転園する家庭もあったがバスの運行により、鶴ヶ岡で継続して保育を行うことが可能になった。

引き続き、遠足や園外保育や、姉妹園交流の際にも、園バスを活用している。その時の感染状況で乗車人数を制限したりする時期もあったが、園バスを利用した活動は、公共の場でルールを守ったり、集団の中で考えて行動するなどの規範意識、社会性、自立心などが芽生え、園内では体験できないことが体験でき子どもたちの成長につながっている。姉妹園との交流では、遊びや、友達関係の幅が広がられている。今後も子どもたちの希望を聞きながら、たくさん活用していきたいと考えている。



通園バスに乗る子どもたち



けやの森への遠足



今昔村への遠足

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	2	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1歳児	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2歳児	23	22	21	21	21	21	20	21	21	21	21	21
3歳児	28	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
4歳児	20	29	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
5歳児	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16

延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	124	147	181	201	153	173	175	170	206	169	182	

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料	有 料	土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	13	保育士	10	看護師	1	栄養士	1	事務	1
パート職員	23	保育士	19	看護師	1	栄養士	2	事務	1
調理員	2	嘱託医	2						

職員在籍状況（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	35	38	39	41	41	41	41	39	39	40	39	39	472
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	9	9	10	11	11	11	11	10	10	10	9	9	120
うち保育士パート	13	14	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	154
うち看護師	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
うち調理員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	49
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち事務	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
うち産休育休	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち保育補助	5	7	7	7	8	8	8	8	8	9	9	8	92

5. 運営報告

（1）開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

（2）各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める。
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める。また園内の衛生管理や感染対策を行う。各訓練の計画、実施
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して栄養士、調理師、保育者が連携する。
保育 WT	保育理念、保育目標、保育所保育指針に基づいて、子どもの主体的及び非認知能力を伸ばす保育の在り方について実践を通して、議論を重ねつつ学びを深める。
地域 WT	地域と共に育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める。衣類バンク等地域の活動への参加。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添えるよう努めた。 ・職員とは定期的に個別面談を行った。
保護者面接および発達相談	・発達相談として数回面談を行う。現在の子どもの状況などを共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える。 - また、ケースによっては、専門機関への相談をお願いし、発達検査をして、療育につなげている。 ・子育てへの不安などに対し、適宜個別面談の時間を作る。今後も育児に対する不安や戸惑いなどを表現できる環境、場づくりができるよう努めていきたい。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・保護者会と共催で「夕涼み会」を実施(新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ夕涼み会ウィークとして実施) ・保護者支援では個別対応が必要なケースが何軒もあった。ふじみ野市や川越児童相談所と連携をとり対応した。 ・保護者会より、園に対しての要望が寄せられ、話し合いを実施。 ・保護者アンケートの実施(行事の開催について、全体的な計画作成に向けて)

(2) 年間行事の振り返り

今年度の園行事は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、徐々に通常の開催に戻す形で行った。保護者にアンケートで意見を聞きながら、話し合いを重ね、どのような形が子どもたちにとって望ましいのか、試行錯誤の繰り返しだったと思う。「夕涼み会」は、「夕涼みウィーク」で開催し、一週間の中で、にこにこ組、わくわく組がそれぞれの曜日にイベントを行ったり、保護者会のイベントの日では、スイカ割りやゲームなどで子どもたちを楽しませていただいた。「親子ふれあい遊び会」は、小学校の体育館を借り、3園合同での開催を目指していたが、感染状況を考え、年長児のみ2園合同で、開催した。クラス限定での開催となったが、小学校への期待や親子での思い出作りにつながったのではないかなと思う。「ウインターフェスタ」は、わくわく組のみ保護者参加で開催、にこにこ組は平日開催とした。わくわく組は「お仕事」をテーマにして、「お医者さん」「お店屋さん」「警察官」「大工さん」「写真屋さん」に分かれそれぞれの職業になりきったり、お客さんになったりして保護者とともに楽しんだ。にこにこ組については、表現を中心に



今昔村への遠足



今昔村への遠足

した活動を行い保護者には後日動画配信をした。ハロウィン、規模を縮小する形ではあったが、地域を巻き込み活動を行うことができた。また、例年通り、焼き芋会やお餅つき節分等季節感のある行事も行った。

今年度も保育参加を実施、保護者参加の行事が制限され、保育園での様子を見る機会少ない中で、お子さんの成長を保護者と共有できるいい機会となっている。複数回参加されるご家庭もあり、保護者の意識の高さを感じることができた。クラス懇談会についても、対面での懇談会を再開、ZOOMでの参加と合わせ、ハイブリットで開催した。それにより、少しずつ参加者も増えている。ZOOMで参加した保護者からは、「仕事の都合で保育園に行けないがZOOMなら参加できる」という意見が寄せられ、今後も社会情勢に合わせた対応をしていきたいと思う。



ウインターフェスタ写真屋さん



ウインターフェスタ大工さんになりきって



今年もサンタさんがきました

(3) 給食・食育運営状況

今年度は「食を楽しむ」「食育から SDGs残食削減プロジェクト」をテーマに厨房、保育が一体となり食育活動に取り組んだ

- ・今年度も、昨年から引き続き食事の時間に幅を持たせることで一人一人に合わせてゆったりと食事を楽しむようにしてきた。保育者の理解も深まっていて、子どもたちも自分のペースで食事をしている。また、給食時間に音楽を流し、落ち着いた雰囲気の中で食事が出来るようにしている。
- ・厨房と保育の一体化としては、保育担当者が、厨房業務を実際に行うことで、双方の理解を深めた。
- ・定期的にはにこにこ組、わくわく組ともクッキングを行い、給食やおやつの食材に触れることで自分の為る食事に興味を持てるようにしている。
- ・畑で好きな野菜を栽培したりする中で、収穫する喜びを感じたり、実際に食材に触れることを通して食に興味を持つことが出来た。
- ・残食削減プロジェクトにおいては、自分たちの残した量がどのくらいなのか計測することで、重さを認識することができた。そして、残食をコンポストに入れ、肥料にすることで、捨てずに再利用できることを知ることができた。今年の卒園制作がコンポストとなり、活動に広がりを見ることができた。



カレーのクッキング



トウモロコシの皮むき



残食量の計測と
卒園制作のコンポスト

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月8日と10月12日の2回実施
歯科検診	6月22日の1回実施
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当、食育担当実施
流行した感染症	・新型コロナウイルス感染症については、今年度20名程の感染が確認された。夏にはRSウイルス感染症、手足口病が数名報告されたが、大きな流行にはならなかった。その他の感染症については数名の罹患はあったものの、3月現在、インフルエンザの感染は報告されていない。
その他、保健に関する取組	5月から7月にかけ4回に分けて普通救命救急講習受講 8月12日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種実施

(5) 安全対策

ア 防災対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会		消防署届出	その他
4月15(金)	避難・消火	無		無	
5月16日(月)	避難・消火	無		無	
6月15日(水)	避難・消火・通報	有		有	水消火器訓練 消防車見学
7月15日(金)	避難・消火	無		無	
8月15日(月)	避難・消火	無		無	
9月15日(木)	避難・消火	無		無	
10月14日 (金)	避難・消火・通報	有		有	水消火器訓練
11月15日 (火)	避難・消火	無		無	
12月15日 (木)	避難・消火	無		無	
1月16日(月)	避難・消火	無		無	
2月15日(水)	避難・消火	無		無	
3月15日(水)	避難・消火	無		無	

2. 非常災害備品の設置

今年度は追加の設置はなし。

3. 侵入者、不審者訓練

・ 11月に警察官立ち合いによる不審者訓練を実施。職員の連携が取れていて良かったとの講評を頂く。また、不審者が来た時の対応方法などのアドバイスを頂く。
今後も警察署の協力を得て、訓練を行っていきたい。

4. 実施した環境整備の状況

- ・ にこにこ組、わくわく組ともに、今あるロフトを改造した。
- ・ 園庭の180cmの土台の作り替え。

(6) 地域との関わり

ア 子育て支援

- ・ 地域のコミュニティに参加し始めた。(地域高齢者との交流)
- ・ 掲示板を活用し園の様子を発信する。また、ホームページのブログで園の様子を発信する。

イ つどいのひろば

- ・ 園外にて出張ひろばを開催するなど、徐々に園外での活動も始動し始めた。
縮小傾向にありつつも、通常のイベント内容に戻りつつある。

ウ 一時預かり事業

- ・ 今年度は通常通りの受け入れを行った。就労での定期利用が多く、一部は本入園にもつながっている。
- ・ 多国籍の問い合わせが増えてきた。

7. 危機管理

- ・ 安全委員会の取組として、事故防止のための命のリストの見直しを適宜行う。重大事故につながる、「SIDS」「誤飲」「水の事故」についての項目は毎日確認を行っている。
- ・ ヒヤリハットは、今年度も「インシデント」「ヒヤリ」「事故」に分類しているが、内容の分析をしやすくするために事故の種類を分類し事故防止に繋がれるようにする。
- ・ 「命のリスト」ヒヤリハットをきっかけに、細かいチェックリストを作成し危機管理に繋がれた。
- ・ 他園で発生した事件事例について、安全委員会を通して共有し、自園での対応を話し合う。
- ・ 全国で起きた重大事故より、「園バスの置き去り死亡事故」後、マニュアルの見直しや子ども自身がクラクションを鳴らす訓練を行った。また、園外活動時の置き去り等の事故については、散歩マニュアルの見直し、散歩マップの作成、散歩中の緊急対応訓練を行った。訓練については、毎月28日を「散歩の日」とし、来年度より、定期的に行うこととした。

8. 職員研修

【令和4年度 内部研修実績】

日付		研修内容	参加人数
5月14日	園内研修	SIDS・誤飲誤嚥・水の事故・熱中症・敏感期 など	23名
5月28日	合同園内研修	休みの取り方・養護について・きらきらシートについて など	24名
6月11日	くらしの日	環境整備	21名
8月27日	学びの日(上福岡ココネ)	保育の深さを感じ、保育を振り返る(中村先生)	15名 ※厨房研修4名
10月1日	学びの日	電話対応・クレームの対処・アレルギーの対応 など	20名
11月26日	学びの日	安全・安心の再確認(散歩ルートの確認)	21名
12月17日	園内研修	嘔吐処理・虐待・個人情報について など	22名
12月24日	くらしの日	大掃除	20名
2月25日	合同園内研修	各委員会発表・研修報告 など	19名 ※厨房研修3名
3月25日	合同園内研修		

【令和3年度 外部研修実績】

研修受講日	研修名	主催者・団体名	参加人数
2022/4/27	信頼される保育者になるためには	コドモン	3名
2022/5/12	多様な子どもの発達支援	コドモン	2名
5/21,22・6/4,5	けやの森自然塾	けやの森学園	
2022/5/27	絵本から広がる遊びの世界	コドモン	3名
2022/6/4	第5回パパフレネの会 汐見稔幸講演会	パパフレネの会	10名
2022/6/10	もっと知りたい食物アレルギーとその対応	コドモン	2名
2022/6/16	選ばれる園からなくてはならない園へ	コドモン	2名
2022/6/28	夏季の活動での安全管理	コドモン	2名
2022/6/30	保育所における新型コロナウイルス感染症について		1名
2022/7/8	発達に応じた幼保小連携とは～適切な就学支援を行う～	コドモン	2名
2022/7/14	保護者目線での安心して預けられる保育とは	コドモンカレッジ	3名
2022/7/21	保育所における児童虐待防止		1名
2022/7/21	若手保育士とのコミュニケーション	ポピンズ	1名
2022/27	保育所における自己評価ガイドラインハンドブックから学ぶ具体的な事例	コドモン	2名
2022/8/9	配慮が必要な子どもの理解と支援	ポピンズ	2名
2022/8/9	遊びの技術 パネルシアター、手遊び、読み聞かせほか	ポピンズ	2名
2022/8/19	養成校卒業入職3年未満対象研修	トミーの日	3名
2022/8/30	ズームオンライン	コドモン	1名
2022/8/31	BCP作成のコツを学ぶ	リスクマネジメント協会	3名
2022/9/22	児童虐待防止について		1名
2022/9/26	衛生推進者	埼玉労働基準協会	1名
2022/10/3	保育所などによる地域子育て支援		1名
2022/10/19	地域子育て支援拠点へのオンライン導入フォローアップワーキング	埼玉県	1名
2022/10/20	令和4年度西部地区幼・保・小連絡推進協議会	幼・保・小連絡推進協議会西部教育事務所	1名
2022/10/24	埼玉県幼稚園等教育研究協議会	文部科学省、埼玉県、埼玉県教育委員会	1名
2022/11/2	ギビングツリー 研修 物的環境	ギビングツリー	2名

2022/11/10	ふじみ野市私立保育園園長会研修会	ふじみ野市私立保育園園長会	1名
2022/11/19	子育て支援者研修会	ふじみ野市子育て支援センター	3名
2022/11/25	白梅幼稚園公開保育	白梅学園大学附属白梅幼稚園	1名
2022/11/26	東洋大学 保育室見学	高山静子	1名
2022/12/1	幼児教育専門研修	独立行政法人教職員支援機構	1名
2022/12/6	初任保育所長等研修	厚生労働省・ポピンズエデュケア	1名
2022/12/13	ギビングツリー研修 人的環境	ギビングツリー	2名
2023/2/10	リモート研修会	日本保育協会埼玉県支部	
2023/2/21	ふじみ野市私立保育園園長会研修会	ふじみ野市私立保育園園長会	1名
2022/12/26	環境設定を学ぶ	東洋大学	2名
2023/3/6	不適切な保育を防ぐために	猪熊弘子	2名
2022/12~2023/1	今、改めて問われる保育施設における安全とは	視聴による研修	全職員
2022/5/24 他全4回	ドキュメンテーションサポートプログラム	コドモン	1名
2023/1/6	『「子どもの権利を守る」「子どもの最善の利益」とは』	全国保育協議会・全国保育士会共同開催	1名
2023/2/10	深刻事故と責任と予防	日本保育協会	3名
2023/2.11	ハラスメントオンライン研修(労働者向け)	厚生労働省	2名
2023/2/8	スチームコンベクションオープンによる調理実演セミナー	ホシザキ北関東株式会社	1名
9/1 から半年間	薬膳 初級・中級	増子友紀子 こしらえごと labo	1名
2022/3	虐待防止研修	埼玉県社会福祉協議会	1名

【令和4年度 キャリアアップ研修受講状況】

研修内容	受講人数
保護者支援・子育て支援	2名
乳児保育	1名
幼児教育	1名
障害児保育	3名
食育・アレルギー対応	4名
マネジメント	1名

9.苦情解決のうち報告すべき事

- ・ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。
- ・今年度より、オンライン意見箱を開設。

令和4年度 高階すまいる保育園 事業報告書

1. 令和4年度 総括

高階という地に根を降ろし、3年が経過しました。いわば「創成期」であるこの期間、一昨年度から続く 新型コロナウイルスの対策を徹底しながらの保育となりました。よりチーム力が必要とされる中、情報共有のための話し合いの充実を意識し、『心理的安全性』を確保し、誰もがざっくばらんに物事を言い合える関係性を構築することに注力してきました。

地域との交流も深まり、昨年度に続き、園見学の依頼は100件を超え、独自で行っている”つどいの広場”においても「リフレクソロジー」や「産後ケア」といった内容も取り入れ、好評をいただきました。それにより、併せて一時保育の利用も多くなり、年間で200人以上の受け入れしてきました。

浅川理事長のつながりにより、著名な方々もご来園され、研究論文等にて評価をいただいております。

また、今年度は、実習生5名、インターンシップで2名、ボランティアを2名受け入れるなど、次世代の保育者育成にも力を入れてまいりました。



入園式 2022. 4. 1



つどいの広場／産後ケア



次世代の保育者養成

保育環境の整備においては、井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こどもアドバイザー）に来園いただき、開園当初より課題であった、ウッドデッキを半室内化することで、乳児が安心してハイハイで活動できるように改善を行いました。それに伴い、生活動線を変更し、子どもたちが自ら靴を取り、外に自由に出られる環境の整備をすることができ、思い思いの動きを楽しんでいる姿が見られます。



井上寿先生のご指導の下、姉妹園合同ワークショップ

保育内容に於いては、今年度も地域のニーズに応え、23名の0歳児の受け入れを行い、年度末の在籍は95名となり、三年連続、定員の80名を超える弾力化運営となりました。1年間の中で行われた行事に関しましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、断念せざるを得なかった行事もありましたが、今年度初めて、高階南小学校の体育館を借りて、「親子ふれあい遊び会」を開催することができ、保護者とのコミュニケーションや保護者同士の交流を深めることができました。

また、その高階南小学校長のご厚意の元、年長児の学校探検や、就学前の事前連絡会議をオンライン実施するなど、小学校との連携を図ることで、学校教育への円滑な接続に向けた一步を踏み出すことができました。

今後も子どもたちが、安心した環境のなかで、すくすくと成長し、自立していけるように、保護者の皆様と一緒に未来を担う子どもたちを育んでまいります。



サマーフェス



水かけ祭り



ハロウィン／地域交流



親子ふれあい遊び会



もちつき



小学校探検

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	16	17	18	20	20	22	22	23	23	23	22	22
1歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
2歳児	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24
3歳児	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
4歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
5歳児	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

延長保育利用状況(延べ人数)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	106	64	104	140	86	108	167	135	231	170	183	185

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	7:00～8:00
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	8:00～16:00
夕方延長	16:00～18:00		有 料	16:00～19:00
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	11 人	保育士	10 人	看護師	0 人	栄養士	1 人	支援センター	0 人
パート職員	19 人	保育士	19 人	看護師	2 人	栄養士	1 人	支援センター	1 人
		調理員	3 人	保育補助	6 人	嘱託医	1 人		

職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍総数	42	44	44	43	43	43	43	43	43	43	43	43
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育士正規	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9
うち保育士パート	16	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18
うち看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち栄養士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
うち調理員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち産休育休	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育補助	9	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	10

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める 保育者の自己評価及び園の自己評価を定期的実施し、課題を抽出し改善に向けて取り組み、育の質を向上させる
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を楽しむ ～感謝の気持ちを育む・季節を感じるよう～」をテーマに食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を実践し、栄養士、調理員、保育者が連携する
保護者 WT	保護者の様々な意見に基づいて相互の理解や信頼を深める
保育 WT	保育理念、保育目標、保育所保育指針に基づいて、子どもの主体性及び非認知能力を伸ばす保育のあり方について実践を通して、議論を重ねつつ学びを深める
地域 WT	地域とともに育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育の振り返りを毎日行い「見守る保育強化月間」を実施した ・園便り（号外含む）、コドモン（公開日誌）、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ等を通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化に努めた ・送迎時の対話をはじめ、日頃のコミュニケーション、保育参加・個人面談を行い保護者と子どもの育ちを共有した
保護者面談 および 発達相談	・現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた ・川越市と連携した巡回発達相談を通して作業療法士の指導の下、適切な対応に努め、専門家の助言を保育に活かすことができた ・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安に努めた
園児の保護者への支援 および 意見要望への対応	・口頭による要望、連絡帳の記載内容等、小さな事柄であっても相手の立場に立って、保護者が応えやすい聞き取り、保護者の心に響くような伝え方に配慮し、新規開設園として、人と人との関わりを大切にした ・保護者アンケートの集約結果、保育参加の感想では好意的なものが多く、感謝の気持ちをコドモンや園便り等で伝えた ・来年度の「全体的な計画」立案にあたり、保護者アンケートを実施した

(2) 年間行事の振り返り

- ・ 新型コロナウイルス感染予防の観点、また、保護者と共に作り上げる行事と念頭に、感染症対策を講じるとともに、保護者アンケートを実施し企画を練り直しました。
- ・ 上記を踏まえ、「入園式」「サマーフェス」「親子ふれあい遊び会」「卒園式」を保護者と共に行いました。
- ・ 行事のあり方として、日常の保育に変化と潤いをもたせ、子どもたちの体験の幅を広げるという考えを持ち、子どもの発想を大切にしながら自発的に取り組めるよう工夫しました。
- ・ 来年度は、子どもたちが行事を通して地域の方と繋がっていく機会を設けたいと考えております。

(3) 給食・食育運営状況

- ・ 個々の発達や生活リズム等に合わせて、気持ちを尊重した食事が摂れるようになりました。
- ・ 乳児クラスは、季節の食材に触れて、香りや触感などを感じる活動を行いました。
- ・ 幼児クラスはSDGsに着目し、残食量を可視化し、干し野菜を作って食べるなど食べ物を大切にする気持ちを育む活動を行いました。
- ・ 厨房調理員も園児の配膳へ積極的に取り組み、個々に合わせた声かけなどを行いました。
- ・ 給食に郷土料理や世界の料理を取り入れ、食の多様性や文化に触れる活動を行いました。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年 2 回実施（6 月 22 日・10 月 19 日）
歯科健診	年 1 回実施（6 月 29 日）
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年 1 回
職員検便	年度当初：全職員 毎月：0 歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	RS ウイルス感染症 感染性胃腸炎（いずれも集団感染には至らず）
その他、保健に関する取組	5 月 25 日、7 月 2 日、7 月 9 日：普通救命救急講習受講 8 月 14 日、3 月 30 日、31 日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

(5) 安全対策

ア 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4 月 22 日（木）	避難・初期消火	無	無	
5 月 28 日（木）	避難・初期消火	無	無	
6 月 15 日（月）	避難・初期消火・通報	無	有	総合訓練
7 月 16 日（木）	避難・初期消火	無	無	
8 月 18 日（火）	避難・初期消火	無	無	
9 月 15 日（火）	避難・初期消火	無	無	
10 月 13 日（火）	避難・初期消火・通報	無	有	総合訓練
11 月 12 日（木）	避難・初期消火	無	無	
12 月 15 日（火）	避難・初期消火	無	無	
1 月 18 日（月）	避難・初期消火	無	無	
2 月 16 日（火）	避難・初期消火	無	無	
3 月 15 日（月）	避難・初期消火	無	無	

イ 非常災害備品の設置

- ・ 非常災害備品を整備し、補充しました。
- ・ 賞味期限を確認して、備蓄用品を点検した。

ウ 侵入者、不審者訓練

- ・ 警察立ち合いの不審者訓練は実施に至らず、園内にて行いました。

エ 実施した環境整備の状況

- ・ 園舎内外に防犯カメラ 21 台を追加設置しました。
- ・ 保育室の手洗い場を自動水栓に切り替えました。

- ・ 命のリストによる日々の環境整備について、園内研修にて確認しました。
- ・ 日々の振り返り、昼礼等による各クラスの環境整備を実施しました。
- ・ 井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）の指導のもと環境整備をしました。

（6） 地域との関わり

ア 子育て支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため地域との交流は控え、外掲示板・自治会への園だより配布を通して園の様子やお知らせを発信しました。
- ・ ブログやインスタグラムを通じて、多くの方へ園の様子を発信しました。

イ ひろば事業

- ・ 毎週木曜日【10：00～11：30】つどいの広場をはじめ、・園庭・各保育室、テラスの開放にて多くの地域の方にご参加いただきました。
- ・ 製作やイベントの開催（クリスマス会、園外活動、手形・足形アート）も行いました。
- ・ 地域の講師を招き、講座を増やし、多くの地域の方にご参加いただきました。

ウ 一時預かり事業

- ・ 就労（9名）・リフレッシュ保育での利用（在園児同じ空間での保育）・短時間保育等、各需要が大変多くありました。
今年度の一時預かり利用者の延べ人数は約600名となり、地域のニーズに応えながら実施しました。
- ・ 就労のご家庭から、入園の希望が非常に多く寄せられました。

7. 危機管理

- ・ 毎日の昼礼にて、インシデントやヒヤリハットとして、事故に繋がりそうなものを報告し合い、共有してきました。
- ・ リスクの高い事例に関しては、具体的な対策が取れているかどうか確認し、不十分であった時には対策を講じてきました。
- ・ 他園で発生した事故事例等について、姉妹園の代表者が集まる安全分科会等を通して共有し、自園の対応を話し合いました。
- ・ ロフトのメンテナンスを行い、子どもたちと一緒に遊び方を考え、子どもの安全力を高める機会をもちました。
- ・ 園外保育（散歩等）での安全管理、見守り方、“数ではなく人の確認”、経路などを園内研修で再確認しました。

8. 職員研修(園内研修)

実施日	研修内容	参加人数
5月14日	・個人情報 ・アレルギー対応 ・午睡のあり方 ・守秘義務の重要性 ・誤飲、誤嚥予防 ・気づきのシート ・乳幼児突然死症候群（SIDS）予防 ・保育環境 ・保育の振り返り ・人権について	31名
5月28日	救命救急(7/9 7/2 ・保育の安全 ・上尾の事故事例 ・ヒヤリハット ・危機管理 ・厨房より ・虐待 ・熱中症対応(暑さ指数含む) ・にこちゃんマニュアル確認	26名
6月4日	【合同園内研修】汐見先生講演会(けやの森主催) 子どもと先生と保護者が関わりながら一緒に作る生活 それが楽しい保育に	15名
8月27日	【姉妹園合同研修】 保育の深さを感じ、保育を振り返ろう(中村章啓氏) 野中こども園の保育について	24名
10月1日	・散歩マニュアル再確認 【姉妹園合同研修】みんな違ってみんないい(フィリップス美穂氏) ・0歳児の保育環境 ・様々な散歩場面を想定しシュミレーションとディスカッション ・保育の安心・安全再確認	21名
11月26日	・緊急時の対応 ・保護者支援 ・保護者アンケートを受けて ・嘔吐処理	25名
12月17日	【保護者との共同研修】虐待の未然防止 ・個人情報の取り扱い	29名
12月24日	・年末大掃除(保育環境整備) ・子どもを大切にする保育とは ・ポートフォリオからの保護者理解	24名
2月25日	・神戸研修報告 ・深刻事故の責任と予防 ・法人より(コミュニケーションについて)	27名
3月25日	・新年度準備 【姉妹園合同研修】マナー研修(佐佐木享子氏)	80名

9. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ・ ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応しました。
- ・ ケースに応じて、法人本部に報告・相談し、指示を仰ぎながら対応しました。

令和4年度 とんりのすまいる保育園 事業報告書

1. 令和4年度 総括

開園3年目を迎え、0歳児、1歳児、2歳児、3歳児、4歳児、5歳児と全年齢のクラスがそろい、先日、第1回卒園証書授与式を和やかな温かい雰囲気の中執り行うことが出来ました。

異年齢での保育と、各年齢での活動、一人ひとりの発達を意識し、子どもたちの興味、関心を通して展開できるように、姉妹園との交流や一緒に活動を取り入れてきました。また、絵本を通して子どもの想像力や意欲、関心を高め、



家庭と子育ての連携を深めていけるように、本年度も引き続き月刊絵本での読み聞かせをすすめ、絵本に親しみました。

さらに「わらべうた」を通してスキンシップをとりながら情緒の安定や日々の生活に一息入れ、一緒に楽しめるように毎月園だよりやコードモン、YouTubeなどで発信をしたことにより、「お気に入りのわらべうたを親子で歌いながら楽しんでいます。」と保護者からの声もありました。

子ども同士遊びの中で、わらべうたを口ずさみながら手をつないだり、シフォンの布でいないなばあをして笑い合い関わり合う姿が増えています。



今年度も新型コロナウイルス感染に伴い、感染対策を徹底しながらの保育となりました。オミクロン株の感染拡大のニュースと共に、園でも保護者、園児、職員の感染者があり育成協会、ふじみ野市保育課との協議の上、濃厚接触者を確定し自宅待機をお願いしてきました。手洗い、手指消毒、登園時の全員の検温と子どもの健康チェックをチェック表で行い、換気、おもちゃの消毒と室内の消毒を日々の業務の中で保育者が交代で、感染予防に努めました。子どもたちの食事場面では、テーブルの配置に配慮し、未満児の午睡では、布団の距離や横になった子どもの頭と足が交互に寝られるように工夫をしました。園行事、保護者参加の行事については、行事ごとに保護者へのアンケートを配信し、様々なご意見を踏まえて実施内容を検討しました。

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	1	1	0	1	1	2	2	4	3	4	2
1歳児	8	7	7	7	11	9	8	8	8	8	8	8
2歳児	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4
3歳児	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
4歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3
5歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	1	2	2	0	1	0	1	0	0	1	1	1

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間		
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00			
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	4人	保育士	3人	看護師	0人	栄養士	0人	事務	1人
パート職員	14人	保育士	8人	看護師	3人	栄養士	0人	事務	3人
調理員	0人	嘱託医	0人						

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
となり会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
保育 WT	活動が豊かに展開されるように、書類の作成、CCWの活用、研修を受けて環境の見直しなどを行う 実践を通して、議論を重ね学びを深める

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育の振り返りを行い、子どもたちの興味、関心を職員で対話して継続していく保育になるよう努めた ・園だより、キッズリー、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ等を通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化に努めた
保護者面談および発達相談	・送迎時の対話、連絡ノートでコミュニケーションをとり、保育参加の際、個人面談を行い、保育園での生活の様子や、子どもの育ち、発達を共有した。 ・保護者の悩みなどは、適宜個別面談を行う
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・口頭による要望、連絡ノートの記載内容等、小さな事柄であっても保護者の立場に立って伝え方に配慮し、丁寧に関わることを大切にしたい ・外国籍の方へは通訳アプリや、英訳をした手紙などでわかりやすく誤解のないように伝えていった ・保護者アンケートの集約の結果、保育参加の感想ではとても好意的な回答が多くあった ・次年度の保育計画立案にあたり、保護者アンケートを実施

(2) 年間行事の振り返り

・感染症に配慮し、行事毎に保護者アンケートを取りながら実施内容を検討し、参加の仕方を工夫してきました。昨年までは ZOOM で行っていた懇談会を 5 月、2 月ともに対面で行い保護者同士の会話も盛り上がり有意義な懇談会となりました。

・保護者の参加はなかったが、夏の夕涼みウィークとして保育の中で楽しみ、幼児クラスでは、玉ねぎの皮から布を染めて衣装を作り楽しみました。

秋の親子ふれあいフェスは、鶴ヶ岡スマイル保育園と一緒に小学校の体育館を借り年長児のみ初めて親子で楽しめるフェスを開催し、他クラスは、ふれあいウィークとして保育の中で身体を動かす遊びを中心に行った。ハロウィンでは、夕涼みの経験から子どもの発想を大切にして、幼児クラスが布を使い衣装を縫いファッションショーを行いみんなに披露し自信になっていた。

冬のウィンターウィークは、クリスマスにちなんだ音楽や制作を楽しみサンタクロースも登場し、保護者会よりプレゼントをいただき大喜びをしていた。伝承遊び会、節分、ひな祭りと季節を感じながら、日々の保育が行事につながった。



園バスの活用

感染状況を見ながら、消毒や換気などの感染対策をし、園バスを利用して姉妹園交流や園外活動を行った。

鶴ヶ岡すまいる保育園に月に数回の定期交流を行い体操や宙活に参加したり「けやの森学園」「大根ほり」「今昔村」へ一緒に行き交流を深めた。3 月には星、宙で伊佐沼すまいる保育園へお別れ遠足に行きつくしやテントウムシなどに触れ自然に触れた。



給食・食育運営状況

・個々の発達や生活リズムに合わせて和やかに食事ができるよう、個々の気持ちを尊重した関りを心掛けた。

・毎月、旬の食材を意識し、皮むきや洗浄などで本物の食材に触れることで、匂いや感触を感じることが出来た。

・屋上園庭の畑、テラスのプランターで野菜を育て、成長をたのしみに日々水やりや観察をし、収穫して洗い、調理して食べることができた。

・給食の時にメニューを丁寧に伝えたり、食材の写真を貼り、興味を持てるよう工夫していった。



・食事中の子どもたちの様子をしっかりと見守るために、「食事中の心がけ」を見ながら食事の援助、見守りを行っている。見守り方を共有することで、姿勢や足の位置、を意識することができ、誤嚥防止、事故防止、に繋がっている。

・一人ひとりの食事の様子を職員間、保護者と一緒に共有できるように、「食事の確認表」を取り入れた。

(3) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月14日と10月25日の2回実施
歯科検診	6月8日の1回実施
保健だより	毎月家庭数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児、配膳担当、厨房担当実施
流行した感染症	・胃腸炎やRSウィルス、風邪など季節ごとに感染する子どもが見られたが、いずれも集団感染には至らず - 新型コロナウイルスはPCRの結果保護者、職員も陽性となっており、子どもの感染者は5名となった ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の指針に基づき対応をする ・インフルエンザ A 型幼児 5 名
その他、保険に関する取組	6月4日、6月11日、6月18日、7月2日、7月16日普通救命救急講習受講 8月12日、13日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

(4) 安全対策

ア 防災対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(金)	地震・火災・消火	無	無	
5月13日(金)	地震・火災・消火	無	無	
6月15日(水)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
7月14日(木)	地震・火災・消火	無	無	
8月18日(木)	地震・火災・消火	無	無	
9月15日(木)	地震・火災・消火	無	無	
10月14日(金)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
11月15日(火)	地震・火災・消火	無	無	
12月15日(木)	地震・火災・消火	無	無	
1月16日(月)	地震・火災・消火	無	無	
2月13日(月)	地震・火災・消火	無	無	

3月13日(月)	地震・火災・消火	無	無	
----------	----------	---	---	--

2. 非常災害備品の設置

4人乗り散歩車、災害用ヘルメット

保護者会より

カセット式コンロ、カセットガス、非常食、保存水、簡易トイレ、簡易ポンチョ、ブルーシート、アルミシート、紙皿、プラスチックスプーン

3. 侵入者、不審者訓練

警察官立ち合いの不審者訓練 11月7日(月)に実施。

4. 実施した環境整備の状況

・1階保育室を乳児と未満児のにこにこ、3階保育室を幼児のわくわくで生活をしている。「遊・食・寝」を独立して行える環境にすることを意識し、環境設定を行った。環境ラボに参加し、子どもたちの興味、関心を見ながら玩具の入れ替えや配置の仕方を工夫した。

にこにこの保育室では、子どもたちの月齢を考え、子どもたち一人一人が主体的に活動できるように興味、関心を見ながらコーナーを設置した。

わくわくの保育室ではメダカ、ザリガニ、グッピーの飼育を行い、図鑑を見ながら水質の調査をするなど元気に生育できるように相談しながら学びを広げていた。

カプラゾーン、LaQゾーンで作った作品を展示したいとの子どもからの声で展示できるひな壇を作り、個人のカードを置いて飾る姿があり、主体的に遊びを繰り広げている。

そのほかにも、子どもたちの興味関心に寄り添いながら、少しずつ環境を整えてきた。

・命のリストによる日々の環境整備

(5) 地域との関わり

市、自治会への参加

・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃

公益的な取り組み

「つながる相談窓口」開設 ステッカー、のぼりの設置 「衣類バンク」

保育年間計画の可視化 可視化して保護者に掲示

子育て支援

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域との交流は控え、外掲示板、自治会への園だより配布を通して園の様子やお知らせを発信した。

・ホームページ、インスタグラムなどを通じ多くの方へ園の様子を発信した。

ひろば事業

- ・週2回程度（10：00～12：00）支援センター・屋上園庭の開放、制作（手形、足形アート）身体測定、イベント（夏祭り、クリスマス会等）多くの地域の方にご参加いただいた。

一時預かり事業

- ・就労、リフレッシュ、緊急預かり、通院等
- ・今年度は利用者が増え、12月～3月はほぼ毎日のご利用があり、1日3枠の定員に達する日も増えている。

(3) 危機管理

- ・毎月安全 WT によるヒヤリハットの分析を行う。リスクの高い事例に関しては、具体的な対策などを話し合っ次事故防止に努めた。
- ・命のリストで園の見回りを毎日行うことで、保育者一人一人が小さなことに気づき、声を上げることによって、安全な環境づくりにつなげる。
- ・他園で起きた事故事例を確認し、注意喚起を行うとともに、姉妹園の代表が集まる安全委員会を通して共有し、自園の対応を話し合った。
- ・誤嚥事故を防ぐために、「食事中心掛け」を共有し、食事の見守り方や食後の口腔チェックを徹底した。
- ・園外保育（散歩等）での人間確認、安全管理、見守り方、経路など散歩日誌を新たに記入する。
- ・毎月28日を「安全の日」と位置付ける

(4) 職員研修(園内研修)

実施日	研修内容	参加人数
5月14日	・安全について 合同研修	24名
5月21日	・暮らしの日 vol.1(三丁目合同)	30名
5月28日	合同園内研修(通達、委員会発表・zoomにて)すまいる保育園10のコツ、自己評価表の気付き、グループディスカッション、手話講座	21名
6月4日 11日	普通救命講習	20名
6月18日	普通救命講習・暮らしの日 vol.2(となり)	26名
7月2日	普通救命救急 暮らしの日 vol.3(玩具の整理)	25名
8月6日	園内研修(監査書類準備等)	20名
8月27日	・野中子ども園の保育について(中村先生)	30名
10月1日	令和5年度入所希望保護者説明会と安全について「私たちに何ができるか」	名
10月8日	I・Uさんの救急搬送について 宙グループ鶴ヶ岡すまいる保育園と合同親子ふれあいフェス	名
10月29日	三丁目すまいる保育園の散歩先での置き去りにについて	名
11月5日	暮らしの日 vol.4(わくわく保育室の環境)	名
11月12日	園内研修	名
11月26日	園内研修()	名
12月17日	園内研修(環境設定、学びの時間)	名
12月24日	大掃除	名
2月25日	合同園内研修	名
3月25日	合同研修	名

三丁目すまいる保育園と合同

(5) 外部研修

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
7月25日	久保隼人	保護者の理解と感情をコントロールする技術		1名
7月24日	中道 道子	自分をコントロールする力を育む		1名
7月1日	第6回関東ブロック 保育研究大会	すべての子どもと子育てに関りを持つ社会の実現を目指して		1名
8月6日	保育のための安全 対策講座	安全への感覚（危険予知能力）を高める		1名
8月26日	乳児保育研修会	コロナ禍の保育・未来を見据えた保育者の専門性		1名
11月13日	瀧 薫	物語・絵本・ファンタジーの遊びが豊かになるために		15名
11月18日	埼玉県保育士会 秋の研修会	子どもの主体の保育の理解促進		1名
11月25日		パネルシアターを通して、人と応答する楽しさやつながり合う喜びを味わう環境づくりや遊びについて	フクトピア	2名
10月6日～	令和3年度企業主 導型保育事業 保 育安全研修	科目視聴、確認テスト 科目レポート	e-ラーニング	1名
12月4日	アート展2021		アルテ子どもと木幼稚園	3名
10月21日 1月21日	令和3年度企業主 導型保育事業 施設長研修	科目視聴、確認テスト 確認レポート オンライン意見交換 最終レポート	e-ラーニング ZOOM	1名
1月22日	東洋大学オンライン 講習	言語や文化が多様な子どもたちとの保育	ZOOM	1名
1月18日	第2回社会貢献活 動推進連絡会議	「SDGsの自分ごと化」		1名
1月27日	ふじみ野市相談支 援包括化推進会議	「外国ルーツの支援について」	ZOOM	2名
2月10日	児童虐待防止サポ ーター研修	児童虐待の防止法を保護者に伝える		1名
2月12日	吉本和子	一人ひとりを大切に育てるために		9名
2月1日～	日本保育協会	実践に活かす保育指針セミナー 子どもの育ちにとっての保育の質		名
2月21日～	社会福祉協議会	「選べる」福祉職員組織力向上研修		名

(6) 苦情解決のうち報告すべき事項

- ・ご意見箱や口頭、連絡ノート等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応
- ・令和5年2月1日より、「オンラインご意見箱」の URL を保護者にコードモンで発信し、ご意見が出しやすくなるようにする事で大きなクレームになる前に意見をお伺いすることとなった
- ・ケースに応じて、法人本部に報告、相談、指示を仰ぎながら対応